



HD映像コミュニケーションユニット
KX-VC1300J / KX-VC1600J / KX-VC2000J
(ソフトウェア Ver6.10)

リリースノート
Ver.1.10

2022年4月1日

パナソニック コネクト株式会社

目次

1.	はじめに.....	3
1.1.....	本書の目的.....	3
1.2.....	対象機種.....	3
1.3.....	公開対象範囲.....	3
1.4.....	記載内容.....	3
2.	KX-VC1300J/VC1600J/VC2000Jの更新情報	4
3.	登録商標及びライセンス	29
3.1.....	登録商標.....	29
3.2.....	ライセンス.....	29

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本資料は、HD 映像コミュニケーションユニット KX-VC1300J/ VC1600J /VC2000J（以下、HD コム）のソフトウェアバージョン Ver6.10 の機能について記載します。

1.2. 対象機種

本書の対象機種を、以下に示します。

機種名	備考
KX-VC1300J	
KX-VC1600J	
KX-VC2000J	

※Ver6.10 は HD コム（KX-VC300、KX-VC400、KX-VC500、KX-VC600）に対応していません。

1.3. 公開対象範囲

本文書は、HD コムを利用するエンドユーザ、システムアップ・設置・保守を担当する販売会社、SIer、および販売店を対象としています。

1.4. 記載内容

本文書では、以下の内容について記載します。

- ・本バージョンの主な機能、更新情報
- ・過去バージョンの更新情報

2. KX-VC1300J/VC1600J/VC2000J の更新情報

KX-VC1300J/VC1600J/VC2000J(ソフトウェア Ver6.10)について、Ver6.05 からの更新情報を記載します。

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）、－：N/A

項目	機能	説明	機種別対応状況		
			VC 2000J	VC 1600J	VC 1300J
新機能	多地点通信中の1対1通話機能	<ul style="list-style-type: none"> 多地点通信中、親拠点から一つの子拠点を選択し、他の拠点に聞かれずに1対1で通話することができるようになりました。 	○	○	○
	接続先拠点名表示	<ul style="list-style-type: none"> 標準モード通信時に接続先へ拠点名を通知するかどうかを選択できるようになりました。 相手先（Ver6.10以降または他社機）から拠点名の通知がある場合は、相手先情報や履歴に、通知された拠点名を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 他社機との SIP 通信 <ul style="list-style-type: none"> 相手先から送信される SIP メッセージの DisplayName 部が設定されている時 DisplayName 部を表示します。 他社機との H.323 通信 <ul style="list-style-type: none"> 相手先から送信される H.323 メッセージの DisplayInformation 部が設定されている時 DisplayInformation 部を表示します。 	○	○	○
機能の向上／改善	映像乱れの改善	<ul style="list-style-type: none"> HDMI ケーブルの信号特性や環境ノイズ等の要因で、稀に映像が乱れる事象を改善できる設定を GUI でも変更できるようになりました。 	－	○	○
その他の改善		<ul style="list-style-type: none"> つながるねっとサービスを利用した通信中、他地点から着信時、稀に切断することがある事象を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> プロファイルの位置指定で通信時、ゲートウェイボックス共有・解除で元のレイアウトに戻らない事象を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> 初期導入後（または Ver6.05 でシステム初期化後）、ショートカットキーに「リモートメンテナンス」を登録して実行した場合にデフォルトパスワードのまま動作する事象を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> 外部制御 I/F からアドレス帳やプロファイルなどを連続でアップロードまたはダウンロードすると失敗する可能性がある事象を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> 配信が連続して 24 時間以上できない事象(Ver5.5以降)を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> KX-VC2000J(MCU 拠点)で Web ハイブリッドモードの時、11 拠点以上の接続で、子拠点が KX-VC300/KX-VC600 や他社機の場合、この子拠点で MCU 拠点の音声聞こえない事象を改善しました。 	○	－	－
		<ul style="list-style-type: none"> 外部要因等による設定データの破損から自動復旧した場合の安定性を改善しました。 	○	○	○

■ Ver6.05 リリース内容

KX-VC1300J/VC1600J/VC2000J(ソフトウェア Ver6.05)について、Ver6.01 からの更新情報を記載します。

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）、－：N/A

項目	機能	説明	機種別対応状況		
			VC 2000J	VC 1600J	VC 1300J
機能の 向上/ 改善	セキュリティ の強化	<ul style="list-style-type: none"> リモートメンテナンス実行時に、デフォルトパスワードや簡単なパスワードでは接続できないよう、セキュリティレベルを強化しました。この変更については、以下のケースで適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> 新規に Ver6.05 の HD コムを導入した場合 Ver6.01 以前の HD コムを Ver6.05 にバージョンアップ後、システム初期化を実行した場合 	○	○	○
	Web ハイブリッドモード中の配信着信	<ul style="list-style-type: none"> Web ハイブリッドモード動作中の配信着信拒否を着信側でわかるようにしました。 	○	○	○
その他 の改善		<ul style="list-style-type: none"> Cisco_WebEX との H.323 通信で、開始時に切断する事象を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> BlueJeans との SIP 通信で、切断する事象を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> H.323 通信で、発信形式を拡張しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> 特定ネットワークにおける配信時の帯域追従性を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> シングルストリームでゲートウェイボックス共有解除ができない場合、ポップアップ表示を行うようにしました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> 自拠点映像ミュートが有効時、GUI / メイン表示設定の選択肢表示を改善しました。 	○	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> つながるねっとサービスを利用時、稀に USB デバイスモードや、Web ハイブリッドモードで起動できなくなることがある事象を改善しました。 	○	○	○	

■Ver6.01 リリース内容

KX-VC1300J/VC1600J/VC2000J(ソフトウェア Ver6.01)について、Ver6.00 からの更新情報を記載します。

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）、－：N/A

項目	機能	説明	機種別対応状況		
			VC 2000J	VC 1600J	VC 1300J
その他の改善	改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 設定保存時や通信終了直後に電源断した場合に、極稀に起動できなくなることがある事象を改善しました。 	○	○	○
	他社機との接続性改善 (Ver6.0 で対応済であったが、記載を追加)	<ul style="list-style-type: none"> 他社機側に表示される HD コムへの送信状況のパケロス表示が異常になる場合がある事象を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> SIP 接続で、DTMF 無し/音声コーデック G.711 μ-low で通信した時、音声を受信できない現象を改善しました。 	○	○	○

■ Ver6.00 リリース内容

KX-VC1300J/VC1600J/VC2000J(ソフトウェア Ver6.00)について、Ver5.50 からの更新情報を記載します。

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）、－：N/A

項目	機能	説明	機種別対応状況		
			VC 2000J	VC 1600J	VC 1300J
新機能	Web ハイブリッドモード	<ul style="list-style-type: none"> ● HD コムのビデオ会議と、パソコンの汎用会議アプリケーションを使用した Web 会議を相互接続し、ビデオ会議の音声と Web 会議の映像・音声を共有する Web ハイブリッドモードを追加しました。 	□	□	□
機能の向上 ／改善	USB デバイスモードの再起動後のモード維持	<ul style="list-style-type: none"> ● USB デバイスモードを有効にした場合、再起動後も有効でしたが、「無効」、「一時有効」、「常時有効」から選択できるようにしました。 	○	○	○
	障害解析用ログ蓄積量拡張	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害履歴件数を、500 件から 1,000 件に拡張しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> ● 障害発生時のログを最大 2 件保存し、一括ログ保存にて取得できるようにしました。 	○	○	○
	GUI/「発信する」画面の操作性向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 「発信する」画面にて、接続先に入力する入力例を表示するようにしました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> ● 「緑」ボタンの表示を「参照」から「アドレス帳・履歴」へ変更しました。 	○	○	○
	非対称通信設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 非対称通信に関する設定を、GUI からできるようにしました。 	○	○	○
長尺の HDMI ケーブル使用改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 長尺の HDMI ケーブルを使用した時のカメラ制御を改善しました。 	○	○	○	
その他の改善	改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 多地点一斉発信の動作の安定性を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> ● USB デバイスモードの USB 挿抜で、マイクが認識されないことがある事象を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> ● 自動電源 OFF のみ設定し手動で電源 OFF した場合に起動できなくなる可能性がある事象を改善しました。 	○	○	○

■ Ver5.50 リリース内容

KX-VC1300J/VC1600J/VC2000J(ソフトウェア Ver5.50)について、Ver5.02 からの更新情報を記載します。

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）、－：N/A

項目	機能	説明	機種別対応状況		
			VC 2000J	VC 1600J	VC 1300J
新機能	アドレス帳転送	● 特定の HD コムのアドレス帳を、別の HD コムに転送してアドレス帳を共有できるようにしました。	○	○	○
機能の 向上 ／改善	カメラプリセット登録数の拡張	● HD コム専用カメラのプリセット数を 9 から 12 に拡張しました。 (対象カメラ：KX-VD170J で動作検証しています。)	○	○	○
	アドレス帳の編集機能改善	● GUI のアドレス帳編集にて、「カナ」の編集を可能としました。	○	○	○
	繁體中文の GUI 選択	● 繁體中文を GUI から選択可能としました。	○	○	○
	表示解像度の改善	● 送信側の HD コムで表示する解像度を、送信解像度から入力解像度で表示するように統一しました。	○	○	○
	リモート一斉発信機能	● プロファイルを発信先情報として利用して、会議中に子拠点からリモコン操作で親拠点のプロファイルに登録された拠点に一斉発信できるようにしました。	○	○	○
	映像送信最小帯域の設定	● 拠点毎の映像の送信最小 IP レートを GUI で設定できるようにしました。	○	○	○
	非通信時のレイアウト変更	● 非通信時のコンテンツ共有表示において、表示レイアウトを変更することができるようにしました。	○	○	○
	H.323 発信宛先の改善	● 「IP アドレス（またはホスト名）###H.323 内線番号（または H.323 名）」を宛先として指定できるようにしました。	○	○	○
	その他 の改善		● シングルストリーム送信中の動作の安定性を改善しました。	○	○
		● 低帯域拠点を切断しても、送信解像度が低いままになる場合がある点を改善しました。	○	○	○
		● SIP 通信 512kbps で接続した時、サブストリームの送信解像度が 1920x1080 になるため、1280x720 となるよう改善しました。	○	○	○
		● モバイル接続拡張がされていない場合、SIP の DelayedOffer での接続通信ができない事象を改善しました。	○	○	○
		● H.263 端末混在時のデュアル共有動作の安定性を改善しました。	○	○	○
		● アンダースキャン率を設定した時、表示位置ずれなどの事象を改善しました。	○	○	○
		● USB 録画映像の品質を改善しました。	○	○	○
		● SIP サーバーで運用中、登録拒否及び復旧後、発信できない場合がある点を改善しました。	○	○	○
		● NTP 時刻補正 ON かつ IP アドレス DHCP 未取得などネットワーク状態が特別な状態にある場合、自動電源 ON しないことがある事象を改善しました。	○	○	○

■Ver5.02 リリース内容

KX-VC1300J/VC1600J/VC2000J(ソフトウェア Ver5.02)について、KX-VC1300J/VC1600J(Ver5.01)、及び KX-VC2000J(Ver5.00)からの更新情報を記載します。

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）、－：N/A

項目	機能	説明	機種別対応状況		
			VC 2000J	VC 1600J	VC 1300J
その他の改善	改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 下記の条件が全て満たされる場合、1 拠点毎の帯域を設定したインターフェースにて、PC またはサブカメラ共有の映像の解像度が 512x288 固定になる現象を改善しました。 － 「メニュー」 → 「設定/保守をする」 → 「通信の設定」 → <ul style="list-style-type: none"> ・ VC1600J/VC2000J の場合 「1 拠点毎の最大帯域(LAN1)」 「1 拠点毎の最大帯域(LAN2)」 ・ VC1300J の場合 「1 拠点毎の最大帯域(LAN1)」 の値を初期値の「指定なし」から変更 － SIP での通信(標準モードあるいはつながるねっとモード) － 多地点会議 － 「メニュー」 → 「設定/保守をする」 → 「通信の設定」 → 「デュアルストリーム」 の値を初期値の「有効」のままにする － 通信中にコンテンツ共有を実行 	○	○	○

■Ver5.01 リリース内容(Ver5.00 からの変更内容)

KX-VC1300J/VC1600J について、Ver5.00 からの更新情報を記載します。

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）、－：N/A

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC 1600J	VC 1300J
その他の 改善	改善内容	MCU 動作時にレイアウトを CP1 にしている場合に、映像が乱れる場合がある事象の改善を行いました。	○	○

■ Ver5.00 リリース内容(Ver4.52 からの変更内容)

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）、－：N/A

項目	機能	説明	機種別対応状況		
			VC 2000J	VC 1600J	VC 1300J
新機能	USB 録画	<ul style="list-style-type: none"> ● USB メモリに非通信中及び通信中の映像(音声含む)を録画する機能を追加しました。 	○	○	○
	USB デバイスモード	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体に接続しているカメラ、マイクを PC の Web 会議用の周辺機器として使用可能とする USB デバイスモードを追加しました。 	□	□	□
	電源管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定した曜日、時刻に自動で電源を ON、OFF する機能を追加しました。 ● 曜日を指定した場合は、一週間に一度、指定しない場合は毎日指定時刻に自動で電源を操作します。 	○	○	○
機能の向上 ／改善	SIP 接続性改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 他社機との SIP BFCP によるデュアルストリームをサポートしました。 ● 他社機との SIP による接続性を改善しました。 	○	○	○
	KX-VD170 対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型カメラ KX-VD170 特有の機能(シャープネス、ノイズフィルター、コンティニューアスフォーカス)を制御できるようにしました。 	○	○	○
	着信時の認証	<ul style="list-style-type: none"> ● 会議室番号を認証番号として利用することにより、着信時の認証ができるようにしました。 	○	○	○
	インポートデータの 下位互換性確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 古いバージョンのアドレス帳、プロファイルをインポートできるようにしました。 ● 同じ機種間で古い構成データをインポートできるようにしました。 	○	○	○
	律速拠点の表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 送信帯域を低下させる要因となっている拠点(律速拠点)が GUI でわかるように、表示を追加しました。 ● 機器情報のガイド表示、及び拠点選択画面において律速拠点を表示します。 	○	○	○
	送信帯域制御	<ul style="list-style-type: none"> ● 送信帯域制御の有効、無効を切り替えられるようにしました。 	○	○	○
	通信中の強制 応答	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信中にメニュー表示している際にも、強制応答設定の場合には着信確認ポップアップを表示することなく着信を行うようにしました。 	○	○	○
	ダイレクト発信の 初期フォーカス位置 の変更	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイレクト発信の初期フォーカス位置を「接続モード」から「接続先」に変更しました。 	○	○	○
	スタンバイ機能の 初期値変更	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理者メニューHDMI 制御・スタンバイ機能の初期値を「無効」から「有効」に変更しました。 本体のスタンバイ実行時、または電源断時に接続しているカメラの電源が落ちる場合があります。 	○	○	○

	初期値の変更	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下項目の初期値を変更しました。 ➢ 通信の設定-つながるねっとのサーバーポート 「通常」→「代替」 ➢ GUI の設定-MCU 動作中の「黄」ボタン 「手元ノイズ抑圧」→「ディスカッション /プレゼンテーション」 ➢ カメラの設定-カメラ操作時のレイアウト 変更 「有効」→「無効」 	○	○	○
	GUI の文言改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下 GUI の文言を改善しました。 ➢ ロシア語 ➢ ポルトガル語：つながるねっとサーバー未 接続時のポップアップ文言 "Niet aangesloten op de NAT Traversal server" → "Não conectado ao NAT Traversal servidor" ➢ スペイン語：セキュリティ設定の「アドレ ス帳以外の着信」 "Entrante un llamante no registrado" → "Entrante llamante no registrado" 	○	○	○
その他 の改善	改善内容	● 標準・つながるねっとサービスモードと静的 NAT を併用時、使用する HUB により、稀に WAN 側の接続先と発着信が失敗する場合が ある事象を改善しました。	○	○	○
		● ゲートキーパー経由で H.323 通信における QoS 機能の調停安定性を改善しました。	○	○	○
		● メインカメラを挿抜すると、HDMI3 出力が 極稀に黒画になる事象を改善しました。	○	○	○
		● 非通信中にコンテンツ共有解除時に画面がち らつく現象を改善しました。	○	○	○
		● 多拠点への発着信を連続で繰り返した際の動 作の安定性を改善しました。	○	○	○
		● 機器情報のパケロスとフレームレートが稀に -表示となる事象を改善しました。	○	○	○
		● コンテンツ共有解除時の動作の安定性を改善 しました。	○	○	○
		● 外部制御 I/F にて、ログのダウンロードを繰 り返し行くと極稀に障害が発生する事象を改 善しました。	○	-	-
他社機との接 続性改善		● AVAYA XT5000 (V8_3_0_80)との SIP 通信 で、XT5000 からの映像が黒画になり、その 後切断する事象を改善しました。	○	○	○
		● 他社機との通信中にコンテンツ共有（デュ アルストリーム）を開始・終了すると、稀にメ インカメラ映像の解像度が低いままになる現 象を改善しました。	○	○	○
		● Cisco_880MXP (F9.3.1)や、Edge95MXP (9.3.4) との SIP 通信で、他社機からの音声 が再生されない事象を改善しました。	○	○	○

	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco_880MXP (F9.3.1)から、通信設定の優先制御を映像優先に変更した HD コムへ SIP 発信すると接続できない事象を改善しました。 	○	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco_880MXP (5.2)との通信で、MXP からの受信映像が乱れる事象を改善しました。 	○	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> • 他社機との SIP 通信時、相手機能力に H.264High Profile がある場合は優先して利用するよう改善しました。 	○	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco_SX20 (8.1.0)との通信で、SX20 からの映像が稀に黒面になる事象を改善しました。 	○	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> • Polycom_RSS2000 や、RSS4000 との通信で、RSS からの音声再生されない事象を改善しました。 	○	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> • HD コムを親機として H.264Baseline SingleNAL のみをサポートした他社機と H.263+のみをサポートした他社機を含めた H.323 多地点通信での、調停の安定性を改善しました。 	○	○	○

■ Ver4.52 リリース内容

KX-VC1300J/VC1600J は、KX-VC2000J (Ver4.51) の機能を適用しています。

KX-VC2000J は、KX-VC1300J/1600J (Ver4.35) の機能を適応しています。

KX-VC1300J/VC1600J について、Ver4.35 からの更新情報を、

KX-VC2000J について、Ver4.51 からの更新情報を記載します。

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）、－：N/A

項目	機能	説明	機種別対応状況		
			VC 2000J	VC 1600J	VC 1300J
新機能	プロファイル待受け	●プロファイルを指定して待受けをできるようにしました。	○※2	○	○
	ホワイトリスト	●ホワイトリストによる着信許可機能を追加しました。	○※2	○	○
機能の 向上 ／改善	拠点名表示領域の透過対応	●MCU 動作中、GUI の拠点名表示領域を透過対応しました。	○※2	○	○
	セキュリティ強化	●セキュリティ強化のため、リモートメンテナンス用のパスワードを強化しました。 (8～32文字、英・数・記号の2種類以上混在)	○※2	○	○
	プロファイルの接続先数拡張	●プロファイル設定の接続先を30拠点登録できるようにしました。	○※2	○	○
	レイアウトパターンの拡張	●通信時の画面分割レイアウトに、CP13～28を設定できるようにしました。	○※2	○	○
	リモートアクセス設定	●Web コンソール、telnet に関するリモートアクセスをGUIで設定できるようにしました。	○※2	○	○
	接続履歴件数の拡張	●通信中の接続履歴を最新15件表示から50件表示に拡張しました。	○※2	○	○
	異速度閾値の追加	●異速度閾値設定値に1.5Mbps、1.2Mbps、384kbpsを設定できるようにしました。	○※2	○	○
	通信履歴の拡張	●通信履歴の件数を100件に拡張しました。	○※2	○	○
	通信履歴の保存機能拡張	●発着信時の全履歴を残すようにしました。	○※2	○	○
	リダイヤル履歴の確認	●通信履歴にリダイヤルの履歴も確認できるようにしました。	○※2	○	○
	履歴の削除機能無効化	●履歴の削除機能を無効にできるようにしました。	○※2	○	○
	SIP の Delayed Offer 対応	●SIP の Delayed Offer に対応しました。	○※2	○	○
	画質設定の拡張	●サブカメラ、PC の画質を個別に設定できるようにしました。	○※2	○	○
	管理者ログインボタンの非表示化	●メニュー画面に表示する黄色ボタン（管理者ログイン）を非表示にすることを可能にしました。	○※2	○	○
	GUI への設定項目追加	●以下項目をGUIで設定できるようにしました。 ➤ マイクの集音特性 ➤ ミュートするマイクの設定 ➤ 親拠点のカメラ映像を合成画像に表示しない設定	○※2	○	○

	GUI 操作性の改善	<ul style="list-style-type: none"> • 通信中、リモコンの状況表示ボタンを押下すると接続先詳細を出し、GUI の操作性を改善しました。また、左右ボタンで拠点の切り替えを可能としました。 	○ ^{※2}	○	○
	社名変更	<ul style="list-style-type: none"> • 使用許諾契約の社名をパナソニック株式会社に変更しました。 	○	○	○
	ネットワーク障害の検出	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークの障害（ネットワークループなど）検出時、解消時にポップアップを表示するようにしました。 	○ ^{※2}	○	○
その他の改善	改善内容	<ul style="list-style-type: none"> • NTT ドコモ SIM を利用した通信において、安定性を改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> • 映像出力設定で HDMI3 の出力を、HDMI1 または HDMI2 の出力に設定した場合、出力元のフォーマット情報から映像出力フォーマットを決定するように改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> • MCU 拠点で、多くの接続先が一斉に切断した場合、映像と音声はずれないように改善しました。 	○	○ ^{※1}	○ ^{※1}
		<ul style="list-style-type: none"> • 自己診断終了ができない現象を改善しました。 	○	—	—
		<ul style="list-style-type: none"> • 通信設定の優先制御を映像優先とし、コーデックの G.722.1 と AAC-LD を無効に設定した場合、KX-VC300/KX-VC600 から着信できるように改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> • プロファイルのインポートにより一旦解除したはずのプロファイル待受け設定が、待受け対象のプロファイル再入力により意図せず待受け設定にされる現象を改善しました。 	○	—	—
		<ul style="list-style-type: none"> • 強制発信許可設定が有効で、WAN 側 IP アドレスを取得できている場合、NAT 性質調査結果に関わらず発信を可能にしました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> • 他社機と接続時、機器情報表示のフレームレートの小数点第一位を正しく表示するように改善しました。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> • 片方向配信が有効で Web ポートオープン状態で起動すると、極稀に起動が失敗する点を改善しました。 	○	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> • GUI のカメラの設定メニューにて、「固定カメラのリモコン受信」を「リモコンスルー機能」へ文言を変更しました。 	○ ^{※2}	○	○	

○^{※1}: Ver4.35 で対応済み○^{※2}: Ver4.51 で対応済み

■ Ver4.35 リリース内容 (Ver4.33 からの変更内容)

○ : 利用可能、□ : アクティベーションにより利用可能、△ : 制約あり、× : 利用不可 (非対応)

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC1600J	VC1300J
機能の向上/改善	改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 複数の子機が接続している状態で、1台の子機がデュアルストリームによるコンテンツ共有を実施している時に、デュアルストリーム無効の端末からの着信を受け、受信確認ポップアップ画面を表示して着信応答した場合に、デュアルストリームを受信していた他の子機がコンテンツ画面のままになる現象を改善しました。 	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> 1つのIPアドレスに対して複数のMACアドレスが割り当てられているネットワーク (例えば、GLBP (Gateway Load Balancing Protocol)) において通信の安定性を改善しました。 	○	○

■ Ver4.33 リリース内容 (Ver4.30 からの変更内容)

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC1600J	VC1300J
機能の向上/改善	改善内容	● HD コムモバイル for Windows からシングルストリームによる PC 共有を実行した場合に自動的に PC 単画面に遷移するようにしました。	○	○
		● 音声入出力の設定でエコーキャンセラーを無効に設定した場合、動作に反映するようにしました。	○	○
		● 映像出力の設定で、映像出力を「HDMI1 のみ」を選択している場合に共有開始時のレイアウト 1 をコンテンツ映像/カメラ映像 (PwithP) コンテンツ映像/カメラ映像 (SideBySide) に設定した場合の動作を改善しました。	○	○
		● 1080i のみに対応した古い型式のモニタを接続している場合に、スクリーンスタンバイ復帰時に正常に映像が出力されるようにしました。	○	○
		● HDMI1 あるいは HDMI2 に 1080i のみに対応した古い型式のモニタを接続し、かつ HDMI3 への出力元に設定している場合に、HDMI3 へ正常に映像が出力されるようにしました。	○	×
		● デュアルストリーム送信時に、稀に送信レートが低下し、映像の乱れが継続する現象を改善しました。	○	○
		● ネットワーク起因のパケロス発生後に帯域が戻るまでの時間を短縮しました。	○	○
	他社機との接続性改善	● デフォルトの設定のままで以下の他社機と SIP で接続できるようにしました。(デュアルストリームは不可です) Polycom : Group300/500 (4.3.0、5.1.2) HDX7000/8000 (3.1.6、3.1.10) CISCO : C20/60 (7.3.2、7.3.5) CISCO : SX20 (8.1.0) SONY : XG77s/100s (1.42、1.51) XG80/XA80/XG55 (2.45)、XC1 (1.12、1.22) Lifesize : Express220 (5.0.3)、Passport (4.12.0) Avaya : VC240 (1004.16)	○	○
		● 接続拠点が 5 拠点以上になった場合でも H.263 で XGA を受信できるように対応しました。	○	×
		● Polycom ViewStation で Release5.6 というバージョンと H.263 で接続できるように対応しました。	○	○
		● HD コムと H.264 Baseline SingleNAL のみをサポートした複数台の他社機 (SONY XG80 など) を接続する際に、接続する順番に依っては接続できない現象を改善しました。	○	○

■ Ver4.30 リリース内容 (Ver4.25 からの変更内容)

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC1600J	VC1300J
機能の向上/改善	GUI の文言改善	ポップアップ表示や通話履歴などの文言を改善しました。	○	○
	その他改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 非通信中でもマイク入力（専用マイク、汎用ライン入力）を自拠点で出力できるようにしました。 ● HD コムを動的 NAT ルーター配下に設置し、標準モードで通信を行う際に、ルーターのポート維持のキープアライブパケットを送信する機能に対応しました。 ● プロファイルを用いた通信にて、メイン表示（ディスカッション）を「位置指定」以外、メイン表示（プレゼンテーション）を「位置指定」、表示位置の指定を「黒画」にして、発信時に接続拠点を外して発信した後に、MCU 動作モードをプレゼンテーションに切り替えた際に、外した拠点の位置が黒画になる現象を改善しました。 ● マイク位置の設定にて、ユーザー設定で設定したマイク 3 とマイク 4 の設定が再起動後に無効になる点を改善しました。 ● プロファイルを使用した発信と同時に着信があった場合、プロファイルを使用した通信にならない場合がある点を改善しました。 ● 暗号有効、デュアルストリーム無効の会議中に、暗号有効、デュアルストリーム有効設定の HD コムモバイル for iOS、HD コムモバイル for Android から発信して参加し、その後、デュアル不可端末が離脱した後で HD コムが PC 共有しても自動的にデュアルストリームにならない点を改善しました。 ● 暗号有効、デュアルストリーム無効の会議中に、暗号有効、デュアルストリーム有効設定の HD コムモバイル for Windows から発信して参加し、その後、デュアル不可端末が離脱した後で HD コムが PC 共有すると、HD コムモバイル端末が切断される点を改善しました。 ● デュアルストリームによるコンテンツ共有中に、デュアルストリーム無効設定の端末が参加した際に、稀にコンテンツを送信している HD コムに障害が発生する現象を改善しました。 ● オーディオ出力にスピーカー、メインカメラ端子にマイク入力付きのビデオカメラを接続している場合、起動時にハウリングが発生する場合がある点を改善しました。 ● SIP プロトコルを用いた 11 拠点を超える複数の着信を同時に受けた際に再起動する場合がある点を改善しました。 	○	○

		<ul style="list-style-type: none"> ● SD カードを挿していない USB アダプタを挿入して、ソフトウェアの更新画面でバージョン確認を実行すると再起動する点を改善しました。 ● 「GUI の設定」で、プロファイルの編集を無効にすると「配信木の設定」ができない点を改善しました。 ● 「映像出力の設定」が「HDMI1 のみ」、かつ「音声の出力先」が「無効」の構成データをインポートできない点を改善しました。 ● 標準・つながるねっとサービスモードで、暗号通信 (SIP) と暗号通信 (つながるねっと) の暗号化を有効にした後、標準モードあるいはつながるねっとサービスモードで、設定するユーザーを一般、暗号キーを空欄にして保存できない点を改善しました。 ● 通信の設定の優先制御を映像優先に変更した HD コムで、多地点通信中に HD コムモバイル for Windows(Ver3.1)から着信すると、HD コムモバイルからの音声再生されない場合がある点を改善しました。 ● 起動時に、映像の一部が一瞬緑色になる場合がある点を改善しました。 		
	<p>他社機との接続性改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SONY 社製 PCS-1 と H264 で接続できるように改善しました。 ● SONY 社製 PCS-1 とデュアルストリームでコンテンツ共有ができるように改善しました。サブストリームのコーデックは H.263 になります。 ● SONY 社製 PCS-G50 と H264 で接続できるように改善しました。 ● HD コムを親機として、SONY 社製 PCS-G50、HD コムを子拠点を含む通信中に、親機からサブカメラ共有をデュアルストリームで行うと、PCS-G50 でサブカメラ映像を受信できない現象を改善しました。 ● SONY 社製 PCS-TL33 と H264 で接続できるように改善しました。 ● HD コムを親機として、CISCO 社製 SX20、Polycom 社製 VSX、HD コムを子拠点を含む通信中に親拠点からデュアルストリーム開始終了するとメインカメラ映像の解像度が低いままになる場合がある点を改善しました。 ● デュアルストリーム有効の設定で、CISCO 社製の MCU と SIP で接続した際に、その後の通信で極まれに正常に接続ができなくなる場合がある点を改善しました。 	○	○

■ Ver4.25 リリース内容 (Ver4.20 からの変更内容)

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC1600J	VC1300J
新機能	プレゼンテーション機能	<ul style="list-style-type: none"> ・内蔵 MCU 機能に講義等のユースケースに対応するプレゼンテーション機能を追加しました。MCU 動作モードをプレゼンテーションに設定することにより、親拠点では「子拠点の合成映像」を表示し、子拠点で「親拠点の映像」を表示することが可能です。 ・通信中メニューや MCU 動作中の黄色ボタン押下により MCU 動作モード（プレゼンテーション/ディスプレイスカッション）を切替えることが可能です。 ・MCU 設定画面で、プレゼンテーションモード時にアイコンを表示することが可能です。 	○	○
機能の向上/改善	音声合成拠点の選択機能	・MCU 動作時の音声合成を行う対象拠点（最大4拠点）をプロファイル設定/通信中メニューから選択可能としました。	○	○
	音声切替2選択時のメイン拠点指定機能	・メイン表示位置設定で音声切替2を選択時に、プロファイル設定/通信中メニューからメイン表示位置の対象拠点を自拠点以外も選択可能としました。	○	○
	分割レイアウトの位置指定機能	<ul style="list-style-type: none"> ・MCU 分割レイアウトにおける各拠点の表示位置をプロファイル登録拠点順に固定することが可能です。 ・プロファイル登録拠点が未接続の場合は、分割レイアウト中の画面を黒画とすることも可能です。 	○	○
	低ビットレート通信	<ul style="list-style-type: none"> ・本体の動作モードを低ビットレートモードに指定することにより、IP レート 64kbps~256kbps までの通信に対応しました。 ※本機能は接続端末が HD コム V.4.25 以降かつ接続端末双方で低ビットレートモードを設定しておくなど条件・制約事項があります。詳細は別途資料を参照ください。 	○	○
	言語追加	・GUI の言語にアラビア語を追加しました。ただし、アラビア語選択時の表示形式は全て右寄せでなく一部メニューでは左寄せでの表示となることがあります。	○	○
	外部制御 I/F	・アドレス帳ダウンロード用の CGI に対応しました。	○	○
	HDMI 出力の最大解像度設定機能対応	・HDMI 映像出力の最大解像度(1080p/1080i)を設定可能としました。	○	○
	音声切替 1/2 の改善	・音声によるメイン表示の画面切替え方式を改善しました。	○	○
	Symmetric NAT GUI 対応	・HD コムモバイルを Symmetric NAT 特性のルーター配下で利用する場合の接続性改善機能を GUI メニューから設定できるようにしました。	○	○
その他	その他改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク帯域変動時の映像送信解像度の追従性を改善しました。 ・LTE 網での移動中などネットワーク状況が悪い環境下での映像送受信性能を改善しました。 ・NAT 配下の HD コムモバイルとの接続で極稀に障害が発生する事象を改善しました。 	○	○

- ・配信中の HDMI 機器からの入力音声の自拠点再生に対応しました。
- ・配信を着信した際の強制応答に対応しました。
- ・コンテンツ共有と着信動作など複数処理が同時に発生する条件下での動作を改善しました。
- ・コンテンツ共有中の HDMI 音声入力設定を「サブ+PC」にした際、コンテンツ共有開始時の音声入力動作を改善しました。
- ・コンテンツ共有中にデュアルストリーム無効端末が切断後、デュアルストリーム送信する際の映像入力切替動作を改善しました。
- ・複数の子機からシングルストリーム共有する際のレイアウト変更動作を改善しました。
- ・PC-VGA 映像入力の映像フォーマット判定性能を向上しました。
- ・HDMI スプリッタ経由でカメラを接続する場合の HDMI 入力映像信号の検出精度を向上しました。
- ・IP アドレスが未取得の場合に HDMI2/3 から映像出力されないことがある事象を改善しました。
- ・メインカメラ映像入力の映像フォーマット切替時の追従性を改善しました。
- ・HE50 カメラシリアル接続時にカメラ再起動後ブルーバックとなる点について改善しました。
- ・サービス停止状態への移行で極稀に障害が発生する事象を改善しました。
- ・スタンバイ状態で自動着信した場合、本体の状態ランプが点滅のままとなる事象を改善しました。
- ・外部制御 I/F にて暗号データアップロードに対応しました。
- ・プロファイル選択にて通話タイプ/モードが無効な発信先を解除できるように修正しました。
- ・IPv6 の通信履歴の表示を改善しました。
- ・プロファイル編集中に着信拒否をした場合の動作を改善しました。
- ・通信中に接続ライセンス数を超えるプロファイル発信すると障害が発生する事象を改善しました。
- ・GUI 文言を修正しました。
- ドイツ語選択時の暗号通信設定
- 多言語の、ソフトウェアの更新画面/バージョン確認ボタン
- 簡体中文の、映像出力設定画面/共有開始時のレイアウト 1 の選択肢
- ・簡体中文の、映像出力設定画面/共有開始時のレイアウト 2 の選択肢
- ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語の、暗号通信設定画面/暗号鍵 (つながるねっと)
- ロシア語の GUI 設定画面項目名
- ・標準・つながるねっとサービスモードで、SIP 無効時にホーム画面に SIP の暗号アイコンを表示する点を修正しました。
- ・通信中のメイン表示位置切替が効かないことがあ

	<p>る事象について改善しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IPv6 アドレスでの発信時のアドレスエラーチェックを強化しました。 ・ICMP リダイレクト機能に対応しました。 		
他社機との接続性改善	<ul style="list-style-type: none"> ・多地点接続時の子端末として、SONY_XG シリーズと、H263+の受信能力端末が接続時に、親端末からデュアルストリーム送信を行うと切断する事があることについて接続性を改善しました。 ・子拠点からのデュアルストリーム共有中に Polycom_ViewStation が途中参加した場合、PC 共有が正常に解除しない場合や、PC 共有ができなくなる場合があることについて接続性を改善しました。 ・Cisco_C60 (TC7.1.4) の内蔵 MCU に SIP で他地点接続時、特定拠点が途中離脱をすると、残った拠点の HD コムがサポート外で切断することがあることについて接続性を改善しました。 ・ HUAWEI_TE30->Cisco_SX20->Lifesize_Express の順で接続した 4 拠点会議中に親拠点から PC 共有すると LifeSize_Express の PC 共有画面が黒面になる事象を改善しました。 ・ Polycom_HDX シリーズの内蔵 MCU から多地点一斉発信した拠点のうち、1 台目の HD コムだけが着信直後、すぐに切断する場合があることについて接続性を改善しました。 ・MCU-AVAYA Elite シリーズの案内画面 (IVR) 経由の会議室入室時に、デュアルストリーム送信ができるように改善しました。 ・MCU-AVAYA Elite シリーズの 100 台以上の高負荷接続時に HD コムからデュアルストリームを開始すると、共有直後に極まれに切断する場合があることについて接続性を改善しました。 ・Polycom_MGC100 との接続時、HD コムの帯域設定が MCU の会議室設定帯域より高い場合に接続ができなくなることについて接続性を改善しました。 ・SONY_G シリーズが混在した多地点接続時に、親拠点からデュアルストリーム送信を行うと、G シリーズ側の PC 共有画面が黒面になる場合があることについて改善しました。 ・内蔵 MCU による多地点接続時のデュアルストリーム送信中に、Polycom_VSX シリーズが 768k より高い帯域設定で途中参加した場合、接続後すぐに切断される場合があることについて改善しました。 ・SONY_G シリーズとの接続において、サブストリームの送信解像度が H264_CIF になるため、H263_XGA となるよう調停方式を改善しました。 ・ Polycom VSX シリーズとの 768k 以下の接続時、VSX 側の表示画像が縦長になったり、黒面になる場合があることについて改善しました。 ・ Polycom RMX シリーズの H239 コンテンツ用コーデック設定が H263 の会議室に接続時、他の Polycom 端末からコンテンツ共有を行うと RMX 側 	○	○

	<p>から調停を無視した H239_H263 ストリームが送られてくるため、HD コム側のコンテンツ表示映像が黒画になる場合がある問題を改善しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・内蔵 MCU に PolycomHDX シリーズ、LifeSize_Express、Cisco_880MXP が混在接続時に、HD コムが PC 共有中に HDX が PC 共有を開始すると、880MXP に PC 共有画面が表示されない場合があることについて改善しました。・Cisco_CodianMCU 接続時、暗号ありなし端末が混在している場合にデュアルストリーム送信ができない場合があることについて改善しました。		
--	--	--	--

■ Ver4.20 リリース内容 (Ver4.15 からの変更内容)

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC1600J	VC1300J
新機能	片方向配信機能	<ul style="list-style-type: none"> ・一台の HD コムが配信する映像・音声を、最大 30 台の HD コムで視聴することができるようにしました。 ・GUI にて片方向配信先の設定、片方向配信の開始、終了ができるようにしました。 	□	□
	IPv6 対応	<ul style="list-style-type: none"> ・IPv6 アドレスを利用して通信ができるようにしました。 ・IPv4 アドレスと IPv6 アドレスとの同時利用ができます。 	○	○
	モバイル接続拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・HD コム本体にモバイル接続拡張を有効（アクティベート）にすることにより、HD コムモバイルソフト側を有効（アクティベート）せずに HD コムと標準モードで接続できるようにしました。 	□	□
機能の向上/改善	設定画面への項目追加	<ul style="list-style-type: none"> ・HDMI からの音声入力の有効/無効が設定できるようにしました。 ・カメラ操作時のレイアウト変更をするかどうかの設定を追加しました。 ・ホーム画面のショートカット機能へ登録できる画面を増やしました。 	○	○
	アドレス帳表示改善	<ul style="list-style-type: none"> ・アドレス帳に全タブを追加して全拠点が一覧表示できるようにしました。 	○	○
	コンテンツ送信方法選択対応	<ul style="list-style-type: none"> ・通信中のリモコン操作で、コンテンツ共有の方法であるデュアルストリームとシングルストリームをシーンに応じて選択できるようにしました。 	○	○
	暗号機能改善	<ul style="list-style-type: none"> ・標準モード(SIP)とつながるねっとで暗号の有効/無効の設定ができるようにしました。 	○	○
	通信帯域設定	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの LAN インターフェース毎に、1 拠点当たりの帯域を設定できるようにしました。 	○	○
	対応 PC 解像度の追加	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに、以下の解像度に対応しました。 1360x768(FWXGA1) 、 1366x768(FWXG2) 、 1440x900(WXGA+)、1600x900(WXGA++) 	○	○
	分割画面レイアウトの追加	<ul style="list-style-type: none"> CP9 を追加しました。 	○	○
	発信時のマイクミュート	<ul style="list-style-type: none"> 発信時に自動的にマイクをミュートする機能を追加しました。 	○	○
	暗号設定の保存、リストア	<ul style="list-style-type: none"> 暗号設定を保存、リストアできるようにしました。 	○	○
	初期値の変更	<ul style="list-style-type: none"> 以下の初期値を変更しています。 通信の設定-2 地点以上の着信 無効を有効へ変更 MCU の設定-メイン表示 音声切替 1 を自拠点へ変更 暗号通信の設定-暗号通信(H.323) 接続性優先を無効へ変更 ※バージョンアップした場合には、前の設定を引き継ぎます。 	○	○

強制応答機能	ホーム画面以外で着信した場合でも着信確認ポップアップを表示せずに着信を受ける機能を追加しました。	○	○
ダイレクト入力画面改善	ダイレクト入力画面で接続先をアドレス帳から選択したときに、アドレス帳の名称を表示するようにしました。	○	○
WAN側IPアドレス機能改善	標準モードで静的 NAT 使用時に WAN 側 IP アドレスを自動取得にしている場合、HD コム本体起動時から一定時間（初期値：240 秒）ごとに IP アドレスをチェックするようにしました。	○	○
SymmetricNAT 対応	HD コムモバイルを SymmetricNAT 特性のルーター配下で利用する場合の接続性を改善しました。	○	○
言語追加	GUI の言語として、独語、フランス語、イタリア語、オランダ語を追加しました。	○	○
その他改善	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンスタンバイ移行時にマイク LED を消灯できるようにしました。 ・通信中の機器情報表示画面にて、アドレス帳に登録されている接続先の拠点名を表示するようにしました。 ・通信時間が 99 時間 59 分を超えた場合に、時間をリセットできるようにしました。 ・2 地点から 3 地点、あるいは 3 地点から 2 地点の通信になる際に、音が途切れないようにしました。 ・H.263/H.261 でカメラ映像を送信する際に、中央切出しで送信できるようにしました。 ・RCA 入力レベルをバージョンアップ後も維持するようにしました。 ・60fps 描画性能の改善を行いました。 ・デュアルストリーム送信中に主映像切替を実施している際に着信した場合の動作を改善しました。 ・デュアルストリーム送信中、かつ PinP 表示をしている場合に、デュアルストリーム受信に切り替わると PinP 映像が相手コンテンツ映像となる現象を改善しました。 ・つながるねっと環境にて、デュアルストリーム機能が有効な状態の会議に、デュアルストリーム機能に対応していない機種（HD コムモバイルなど）が接続、切断した場合、デュアルストリーム機能が有効にならない場合がある現象を改善しました。 ・H.323 にてコンテンツ送信を開始した際に、相手から拒否された場合でもコンテンツ送信中と表示されたままになる現象を改善しました。 ・H.323 の 2 拠点接続時に、コンテンツ共有を行い、終了した後に左上に相手拠点名が表示されない現象を改善しました。 ・メイン表示：音声切替 2 接続先の音声：全ミュート の設定を行い、かつシングルストリームによるコンテンツ共有を行った際の動作を改善しました。 ・親拠点のコンテンツ共有の終了と子拠点の切断とが同時に発生した場合に表示がおかしくなる現象を 	○	○

	<p>改善しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非通信中にコンテンツ共有状態から PC 用のケーブル (HDMI ケーブルあるいは VGA ケーブル) を抜くと一瞬カメラ映像が表示されることがある現象を改善しました。 ・自動応答に設定している場合、セッション変更中に着信を受けると着信確認ポップアップを表示する現象を改善しました。 ・ネットワーク回線品質への追従性向上により、ネットワーク状況が非常に悪い状況 (例: 3%を超えるパケットロスが連続して発生する環境) で、稀に切断する現象を改善しました。 ・輻輳によるパケットロスが大きいネットワーク環境によっては、送信レートが低いままになることがある現象を改善しました。 ・HDMI3 の出力を「自拠点映像」に設定し、カメラが接続されていなかった場合に乱れた映像が出る現象を改善しました。 ・自動応答に設定している場合に着信音が鳴らない場合がある現象を改善しました。 ・稀に発生する乱れた映像が回復しない現象を改善しました。 ・稀に非通信中にマイク LED が高速赤点滅する現象を改善しました。 ・電源オン時に、極稀に起動音が鳴らずに発信できない状態になっている現象を改善しました。 ・着信時のマイクオフ設定を有効にしている場合、3 拠点接続から 2 拠点接続になった場合にマイクがミュートされる現象を改善しました。 ・SIP の SRV レコード検索を有効にしても正常に動作しない現象を改善しました。 ・数字モードでのリモコン入力文字を取扱説明書と統一しました。 ・不正なルーティング設定を 20 組以上設定した状態で起動した場合、GUI が表示されない件を改善しました。(Ver4.15 でのみ発生) ・PC (VGA) から 1080p 解像度のサブカメラに切り替えた際に、お使いの PC に依ってはサブカメラの映像が出ないことがある現象を改善しました。 ・他社機との接続性を改善しました。 ・つながるねっと接続中に DHCP のリース期限切れになった際の動作を改善しました。 ・暗号設定が異なるなど接続できない相手先と接続できる相手先とを含んで一斉発信をした場合に、通信中の青ボタン (接続履歴) の表示内容が不正になるなど GUI の表示を改善しました。 		
<p>他社機との接続性改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・OKI-VisualNexus の音声 Codec 設定が G.711 A-low の会議室に接続した場合に、音声にノイズが重畳される現象を改善しました。 ・旧バージョンの Cisco Codian の会議室に SIP 接続終了後に、デュアルストリーム通信ができなくなる現象を改善しました。 	○	○

	<ul style="list-style-type: none"> ・旧バージョンの VisualNexus の H263_4CIF 会議室 (HD コム未サポート能力の会議室) に接続時、障害発生ポップアップが表示する現象を、サポート外ポップアップで正常切断するように改善しました。 ・Mediapoint IP2 と H.263 で接続時、Mediapoint が送信する H263 ストリームを異常検出して切断する現象を改善しました。 ・マーカビットが無い不正な H.263 ストリームを受信すると通話が切断される現象を改善しました。 ・SONY XG シリーズと H323 暗号通信時、XG シリーズから HD コムのカメラ操作ができない現象を改善しました。 ・SONY XG シリーズが混在した多地点会議時、親拠点からコンテンツ共有を開始すると、コンテンツ共有映像が一旦消えて再度コンテンツ共有画面になるコンテンツ共有開始直後の画面のばたつきを改善しました ・Polycom HDX シリーズ、SONY GX シリーズと LifesizeExpress が混在した多地点会議時、HDX シリーズからコンテンツ共有を開始すると共有画面がちらつく現象を改善しました。 ・HUAWEI TE30 や AverEVC900 など H263QCIF 未対応端末と PolycomHDX シリーズと VSX シリーズが混在した 9 拠点以上の多地点会議時、HDX シリーズからのコンテンツ共有時にコンテンツ共有ができない現象を改善しました。 ・Polycom HDX シリーズが参加した多地点会議にてコンテンツ共有中に SONY XG シリーズが途中参加すると、SONY 機側にコンテンツ共有画面が表示されない現象を改善しました ・SONY XG シリーズと接続にてコンテンツ共有中に Cisco C シリーズが途中参加すると、稀にコンテンツ共有映像が表示されない現象を改善しました。 		
--	---	--	--

■ Ver4.15 リリース内容 (Ver4.10 からの変更内容)

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC1600J	VC1300J
機能の向上/改善	LAN2 ルーティング設定数の拡張	<ul style="list-style-type: none"> LAN2 のルーティング設定の登録数を 10 組から 50 組へ拡張しました。 	○	×
	リモコンの受信感度改善	<ul style="list-style-type: none"> リモコン受信処理の変更により、受信感度を改善しました。 	○	○
	HDMI 接続時の機器接続性改善	<ul style="list-style-type: none"> 検出処理を変更して、HDMI 機器からの入力信号が異常な場合の HDMI 機器の接続性を改善しました。 	○	○
	映像切替時の画面ちらつき改善	<ul style="list-style-type: none"> パソコンやサブカメラの映像の共有開始時、終了時に画面がちらつく場合がある現象に対応しました。 	○	○
	VC300/600 との接続性改善	<ul style="list-style-type: none"> 静的 NAT 配下に設置されている KX-VC300/600 との接続において、特定条件下で接続できない場合がある点に対応して、接続性の向上を図りました。 	○	○
	システムの初期化処理変更	設定情報をシステムの初期化をする内部処理プロセスの変更を行いました。	○	○

3. 登録商標及びライセンス

3.1. 登録商標

Polycom® は、Polycom,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

SONY は、ソニー株式会社の登録商標です。

Cisco は、シスコおよび/または関連会社の登録商標です。

LifeSize は、Logicool の登録商標です。

HUAWEI は、HUAWEI の中国およびその他世界各国における登録商標です。

AVAYA は、米国 Avaya Inc. の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Mediapoint は、NEC エンジニアリング株式会社の登録商標です。

Visual Nexus は、沖電気工業株式会社の登録商標です。

3.2. ライセンス

本製品は、Polycom® によってライセンスされた G.722.1 と G.722.1 Annex C を使用しています。